

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ブルーコーラル・ベノム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.036	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：BLUE CORAL VENOM

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：FATAL VENOM

フレアーの幅 インチ

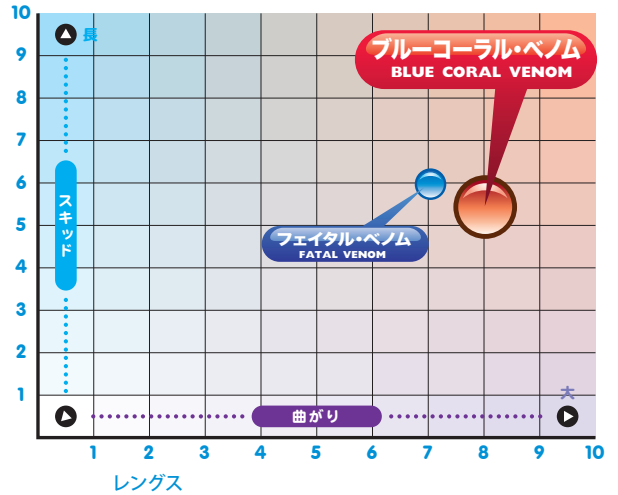
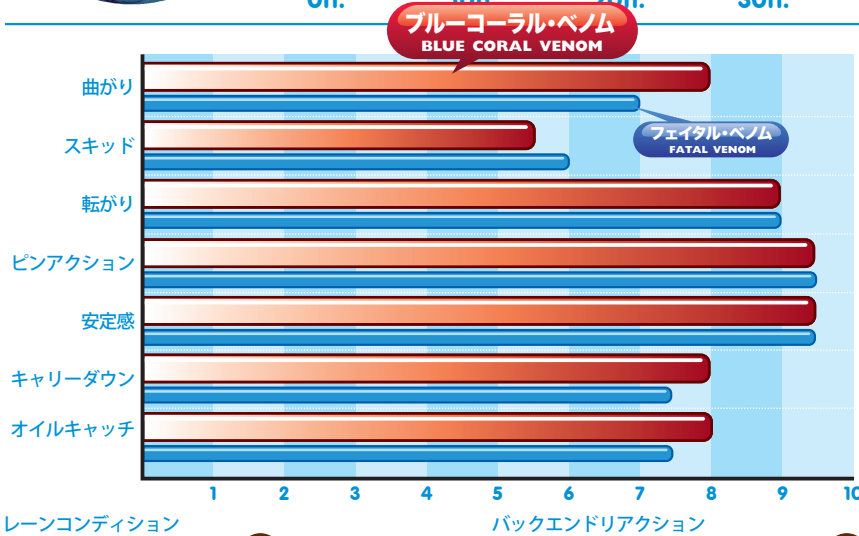
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

MOTIVのミディアムライト領域で国内外問わずポピュラーなベノムシリーズ。代表的なベノム ショックは今でも再販を願うボウラーが多く、特に回転数が多めの方に人気がありました。今回のブルー コーラル ベノムはベノムラインの最新作で、直線的にラインを攻めるボウラーや回転数が多めのボウラーまで様々に対応可能なマルチなボールに仕上がっているのが特徴です。まず印象強いのが、オイルに対するトラクションが高いのに、十分なスキッドが得られることでしょう。このオイルに対するトラクションのおかげで、今までのベノムシリーズで最も多様性を感じました。スピードのあるボウラーは直線的にラインを攻め、ポケット付近で角度のある曲がりを感じていただければと思います。速度と回転のバランスが良いボウラーは幅広いコンディションでバランスよくブルー コーラルベノムでラインが取れるでしょう。オイルを使ってもラインが取れるし、完全なドライエリアに向けて投球も可能で、オイルとドライの挙動が最小限に抑えられているとも感じました。様々なラインを投球してポケットまで運んでみると、オイルに滑り過ぎないし、ドライエリアの反応も良いのでタイトにラインを攻めることもできるし、オイルの中を最短距離で攻めることもできます。ドライゾーンの反応の良さからオイルに流されるイメージの先入観を持っていたのですが、それがしっかりオイルを掴んでいるのが印象に残り、これぐらいの性能であればベンチマークの役目をするボールとも言えますし、幅広いコンディションで挙動が少なく、安定したパフォーマンスが出てくれるとも思いました。ベノムの象徴でもある入射角の出るリアクションは出しながらも、オイルへの対応と角度のある曲がりを実現できているレベルの高い仕上がりですので、高性能なベンチマークなボールを探している方はブルー コーラルベノムを使って頂きたいと思います。

特記事項

ベノムシリーズで最も多様性があり、オイルに対しての安定感とバックエンドの強さ双方をかなえたベンチマーク的役割を果たすボールです。